

# 農作物などに甚大な被害

▲青森県境の矢立風致保護林で、幹が根元近くから裂けるように倒伏した樹齢約二百五十年の天然秋田杉。この保護林内では約八十本の天然杉が倒伏



台風19号は、九月二十八日早朝、秋田県沖の日本海を通過。秋田地方気象台では観測史上最高の最大瞬間風速五一・三メートルを記録し、強風が各地で吹き荒れました。当市でも、大館周辺広域消防本部の観測では瞬間最大風速三六・五メートルを記録。このため、住宅や公共施設の損壊、倒木などによる道路交通のしや断、鉄道やバスの運休、断線による停電や電話不通などで、市民の生活は混乱状態となりました。

市では、二十八日に災害対策本部を設置し、被害状況の把握や道路交通の確保などに努めました。災害対策本部でまとめた十月三日現在の被害状況は、住宅関係では住家・非住家の全壊、半壊、部分壊など併せて四百五十八棟、農作物ではリンゴやナシの落下、水稲の脱粒など全体の被害総額約四億五千四百万円、公共施設では小・中学校の損壊など全体の被害総額約一億七千四百万円でした。

市では、公共施設の復旧などのほか、今後の対策に早急に取り組んでいきます。また、市民生活課内に災害対策市民相談室を設置し、今回の災害に伴う各種相談に応じています。



▶ビニールが吹き飛ばされ、パイプがアメのように曲がったビニールハウス(山館)

▲強風に吹き飛ばされ、県道に落下した立花神社の屋根



## 市長 市レポート



No.9

### 災害に強いまちづくり

今回の台風19号により被害を受けた市民の皆さんには、まもなくお見舞い申し上げます。復旧には各ご家庭でも各地域でも時間がかかると思いますが、頑張ってくださいと思います。農業などの生産部門の災害では直接被災者の所得にもかかわってまいりますので、市としてはできる限りの対策を講じていきたいと思っています。

今回の災害は学校などの公共施設や住宅の屋根が損壊する被害が多く、風に対して非常に弱い弱な構造だったことが分かった訳です。ですから、単に復旧するだけではなく、二度とこのような災害がないようにしっかりとがっちりした構造にするなどの対策を講じ、災害に強いまちづくりをしていくことが必要だと思っています。また、これからの課題として、小・中学校の休校など市民への連絡や、災害の復旧がよりスムーズに行えるような体制づくりに努めていきたいと考えています。

小畑 元